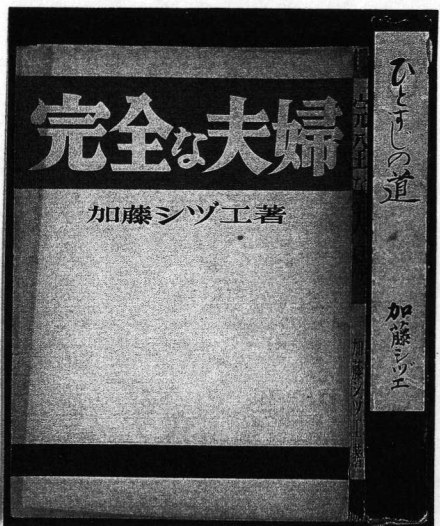


加藤シヅエ かとう しづえ 評論家、産児制限運動家。明治二十年二月一日東京
 生まれ、平成十一年十一月二十一日没（八七七一〇〇）。書姓廣田、石本、
 本名静枝。筆名加藤シズエ、加藤静枝、石本静枝、石本静枝子。大正
 二年學藝學院女學校卒。アメリカに留學し、母舅石本惠吉と結婚。また、
 サンガーの産児制限運動を知り日本に紹介。昭和八年馬島潤うまじまと石本産
 児調節聯盟を設けり。十九年石本と離婚し、無産運動家加藤勲十と再婚。
 二十一年衆議院議員に當選、初の婦人議員となる。二十五年衆議院議
 員。

譯著書、マーガレット・サンガー著『文明の中樞』（石本静枝名、譯
 大正十一年八月二十五日實業之日本社）、『毛絲のみのり』（子供読）
 同、大正十二年二月十日實業之日本社）、『わが母の語り』（同、合
 著・家庭新聞社縮刷局）新妻伊都子論、昭和十六年十一月二日家庭新
 聞社出版部）、『産児制限と婦人』付サンガー夫人小傳』（加藤静枝
 名、昭和二十一年五月五日讀賣新聞社）『よみうり新書』（『汝が名
 は母』わが半生の記』（昭和二十一年十一月十五日、再刊、二十二年
 五月十日國民社）、『完全な夫婦』（昭和二十四年一月、二十五年兵庫
 ・神港新聞社）、『わがわがな生活』（
 築くわがわが受胎調節の實際的方
 法』（昭和二十五年五月一日大日本
 雄辯會講談社）、メリー・R・ビヤ
 ード著『日本女性史』（譯、昭和一
 十八年九月十日河出書房）、『ひこ
 すじの道』（昭和二十一年十一月五日ダヴィッド社）、『わがわがの文



化のはゞこまのちう 〔船橋邦子訳、昭和二十年七月、二十百青山館〕、可加
藤シヅエ百歳一變と勇氣の言葉の記録 〔屈江実編、平成八年十一月
二十百婦人の西報社〕等。